

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年 4月7日
学) あかし学園あかし幼稚園

1. 本園の教育目標

- みんなちがってみんないい：ありのままの子どもを受け止め個性を大事に育てる。
- 遊び、生活、課題という3本柱の繰り返しによって子どもの自立を促す。
- 神様とのひと時を大切に、人に優しく礼儀正しい子どもを育てる。

2. 本年度（令和3年度）重点的に取り組む目標・計画

- かけがえのない存在である子ども達の個性と人格をありのまま受け止め、尊重する。
- 家庭との連絡を密にとり、保護者の心にも寄り添いながら、共に子どもを育てていく。
- 子ども達が生き生きと遊べる環境を保証しながら、深い子ども理解に努める教職員の育成を図る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	かけがえのない存在である子ども達の個性と人格をありのまま受け止め、尊重する。	A	<ul style="list-style-type: none"> • 長期計画を立て、月、週、毎日と細かく保育を考えていたので、無理なく子ども達を導くことが出来た。 • 出来る出来ないではなく、その子にあった到達点を見極め取り組むことが出来た。 • 職員でクラスの枠を超えて全園児を見ていくことが出来た。
2	家庭との連絡を密にとり、保護者の心にも寄り添いながら、共に子どもを育てていく。	B	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者の方一人ひとりと連絡を取るよう努めていたつもりだが、まだ不足している部分もあった。 • 言葉が足りなかったり、信頼に足りないこともあり、職員個々の自己鍛錬も必要である。
3	子ども達が生き生きと遊べる環境を保証しながら、深い子ども理解に努める教職員の育成を図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> • おもちゃの種類、数を見直した。（増やした） • 園内研修や行事ごとの反省は、保育に生かされた。 • 外部研修にもっと参加し、専門知識を身に付けるよう励みたい。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> • 保育全般については長期的見通しの中で、子どもを中心に無理なく行う事が出来た。 • 保護者との連絡が不足していた部分を改め、子どもの育ちを共有出来る様に努める。 • 職員が専門知識をより身に付け、子どもの育ちへの理解力を深める。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	家庭との連携・保護者同士の関係	<ul style="list-style-type: none"> • どの保護者とも公平に話しをするように意識し、保護者の不安や心配が少しでも減るように接していく。 • コロナ感染に配慮しながら、保護者同士が出会える機会を提供する。
2	遊びの環境の保証	<ul style="list-style-type: none"> • 遊び方、おもちゃの内容、数等も学期ごとに見直し、充実したコーナー遊びが行えるように努める。 • 未就園児クラスや園庭開放の周知にも力を入れる。
3	職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 全園児の子ども理解を大切にすると共に、研修を通して専門分野のスキルアップに努める。

6.学校関係者評価委員会の評価

- 気になる子は年々増えていると思う。先生達が必要以上に落ち込まないように、みんなで共有しながら分担すればいい。
- あかしがビジネス的ではないというのは本当にそう思う。(そこが良いところ)
- 初めての子育てで個性的な子どもを育てていると色々な事に敏感になるだろう。でも、あかしに来ることで肩の力が抜けて楽になる保護者も多いと思う。
- いろいろな家庭の事情を抱えている子がいるかもしれないが、せめて“あかし幼稚園では大切にされていた”という思いが持てるようにしてあげたら良いのでは。
- 各学年がまとまっている。今後も子ども達をよく見て行ってほしい。(手のかからない子も含めて)
- 卒園してもいつまでも繋がっていられるところ、仲良しでいられるところがあかしの良さ。
- これまでのあかしの良さをなくさないで、自信をもって引き続きがんばってほしい。